



掖済(えきさい)の心で、社会に貢献  
「掖済」は、腋に手を添えて助けるの意味。

小樽掖済会病院広報誌

# かなる Canal



vol.13

2022  
January

Canalは英語で運河という意味



メルヘン交差点

## 小樽掖済会病院の基本理念

# 優しさと責任

患者さんに優しく接し  
責任を持って診療に当たります

## ◆ 目次

- 2・3 病院長のひとり言
- 4・5 たかが脂肪肝、されど脂肪肝
- 6 セレクト給食のご紹介
- 7 入退院・総合相談センターのご紹介
- 裏表紙 Topics 『マイナ受付』を導入しました

TAKE FREE(無料) ご自由にお持ちください。



# 病院長のひとり言

～令和四年(寅年)新春を迎えて～

明けましておめでとうございます。

私たち病院職員は、患者さん、ご家族の皆さんに信頼される病院として、また職員にとっても働き甲斐のある、活気にあふれた職場でありたいとの思いで頑張りますので、今年も小樽掖済会病院をよろしく願い申し上げます。

さて、今も新型コロナウイルスとの闘いは続いてますが、前回の病院広報誌『かなる12号』で書いたとおり、昨年10月に緊急事態宣言が解除された後も引き続き感染の再拡大は見られておりません。日本の犠牲者数が諸



外国に比較して明らかに低い傾向に変わりはないようですが、その要因のひとつと考えられる発表がありました。理化学研究所によれば、それはHLA(ヒト白血球型抗原)で多くの日本人が持っているHLA-A24というタイプが新型コロナとの闘いに有効に働いている可能性があるというもので、専門的な内容ですが説得力もあり、少しだけ納得できた気がします。それでも、3回目のワクチン接種、マスク、手洗い、換気、ソーシャルディスタンスが必要なのに変わりありません。一方、全世界で2億7千万人が感染し、530万人が亡くなる(図はグーグルニュース2021/12/15から引用しました)など、依然として新型コロナウイルスは猛威をふるっています。

特に11月末に南アフリカで発表された変異種オミクロン株の感染力の凄まじさには各国ともに奮闘していますが、欧米では第6波が来ていると考えているようです。日本でも徐々に変異株感染が増えてきてますが、新型コロナウイルスに効果が期待されている内服薬も近々承認されるとのことです。私たちも日常生活を破綻させることなく感染に対応したいと考えており、我が家の「凜」も情報収集に余念がありません。



病院では、新型コロナウイルス感染を疑う患者さんに対して毎日当たり前のようにNEAR法検査(PCR検査)、抗原定量検査を行っています。それであっても、新型コロナウイルスが出現する前と何ら変わらず、外来診療、内視鏡検査、内視鏡下手術、腹腔鏡下手術、開腹手術、緩和医療などの通常診療をしっかりと行っておりますのでご安心下さい。



先日、内科外来を受診する患者さんを介助するため「お仕事中」の文字を背負って、静かに「伏せ」の姿勢で待っている「セン」君の姿を撮影させて頂きました。仕事中には声をかけたり、触ろうとしたり、気をそらすような行為は厳禁なので遠くから見守ることしか出来ませんが、新型コロナウイルスと闘う余裕のない毎日を送りながらの日々で、一瞬ではあっても、心がホッコリと暖まる思いがしました。写真撮影ならびに病院広報誌掲載を快諾して頂きありがとうございました。



令和四年の干支は寅です。寅はネコ科動物だから先祖は繋がっているから自分の干支と同じようなものと喜んでいる「凜」ですが、「セン君」とは全く違ってハーネスをつけると一步も動けない、寒い外には出たくない、肉食のはずなのにキャットフード以外は食べられない、野良猫出身とは思えぬほど、自分の都合が最優先という、基本的姿勢を貫き通しているので、盲導犬のような介助活動はとても無理な話しです。

そんな「凜」ですが、コロナ禍にあっても、自粛中であっても、疲れて帰宅した時であっても「ツンデレ」という最高の「癒やし」を与え続けてくれているので、今年も元気にやっていけそうです。

**「今年も一年、よろしくニャン！」**

# たかが脂肪肝、されど脂肪肝



小樽掖済会病院 消化器内科部長 高梨 訓博

## はじめに

『あなたは脂肪肝ですね』と言われてみなさんはどのように思うでしょうか？ おそらくは『ふーん、そうなんだ、痩せなきゃならないんだね』くらいに考えてしまい、それほど重大には捉えない方がほとんどだと思います。

今回のテーマはその『脂肪肝』についてです。その『ただの脂肪肝』が実は私たちの健康にかなりの害をきたすことがわかってきています。

## ①脂肪肝とは

脂肪肝とは、読んで字の如く、肝臓に脂肪が沈着した状態です。病理学的に正しく表現すると、5%以上の肝細胞に主に中性脂肪をはじめとした脂肪成分が沈着した状態、すなわち『肝臓の肥満』ということになります。もちろん脂肪がついているよりはついていない方がいいんだろうな、というのはわかると思いますが、脂肪肝が生じるとどのような悪影響があるのでしょうか。

## ②脂肪肝の成因

脂肪肝の成因は多岐にわたります。ですが、ここでは大きく2つに分けてみたいと思います。“アルコール”と“それ以外”ですが、実はこの“それ以外”こそが、最近話題の“非アルコール性脂肪性疾患(non alcoholic fatty liver disease; NAFLD、よくナッフルド、ナッフルディーなどと呼ばれます)”として注目を浴びています。

## ③アルコール性脂肪肝

まずはみなさんよくご存知、アルコールが原因の脂肪沈着ですね。

アルコールが肝臓によくない、というのは誰もが知る事実だと思います。アルコールは様々な作用によって肝障害を引き起こしますが、その作用のひとつに脂肪沈着が挙げられます。すなわちアルコール性脂肪肝の状態ですね。さらにアルコール摂取を続けるとアルコール性肝炎や、肝臓の末期状態である肝硬変、さらには肝臓まで進展しうる訳ですが、重要な点を一つ。アルコール性脂肪肝までの状態であれば、禁酒をすることによって元の元気な肝臓に戻すことが可能なのです。『アルコール性脂肪肝』の状態が、さらに悪化するか、それとももとの健康な状態に戻るか、の分岐点、重要な境界になる訳ですね。



#### ④非アルコール性脂肪肝

さて、ではここから本題に入っていきます。アルコールによらない“それ以外”のものを総称して非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)と呼びます。この病気は簡単に説明すると、アルコールを飲んでいない、もしくは少量しか飲まないにもかかわらず、あたかも大量飲酒をしているのと同様な肝障害、脂肪肝が引き起こされる病態、ということになります。

以前はアルコールに関係ない脂肪肝は、それ以上進展しないと考えられていたのですが、実は肝硬変へ進展したり、さらには肝癌が発生することもわかってきたのです。『ただの脂肪肝』と馬鹿にできないことが明らかになった訳ですね。

ではアルコール以外で脂肪肝をきたす病態とって、みなさんは何を想定されるでしょうか？おそらくみなさんが真っ先に想定するのは肥満だと思います。その通り、非アルコール性脂肪性肝疾患の原因の多くを占めるのが、肥満をはじめとした、糖尿病、高脂血症、高血圧などのいわゆる生活習慣病なのです。

これらの生活習慣病を有していると肝臓に脂肪が沈着する頻度が高くなります。いわゆる非アルコール性脂肪肝ですね。ただ、この脂肪肝の状態がすぐに重篤になるのか、というとそうではありません。ただ脂肪が沈着しているだけだとそう大きな問題にはならないのですが、そこにいわゆる炎症が起こることによって、非アルコール性脂肪性肝炎(NASH、『ナッシュ』と呼ばれます)へと進展し、様々な問題を引き起こすこととなります。ただNASH進展へのメカニズムはなかなか難しい問題で、その機序も多岐にわたっており、完全には解明されていないのが現状です。

NASHの実際上の問題点はもちろんいろいろあると思いますが、重要なポイントは

①NASHまで進展すると、以後肝硬変、肝癌へ進展する可能性が生じる

②NASH自体に効果のある薬は現状ない

という点です。NASHまで進展してしまうと、診断も治療もその後の経過も非常に複雑になってしまうのですね。

ではみなさんはどうしたらいいのでしょうか？結局現状でみなさんができる最良の治療は健診等で脂肪肝の有無をチェックし、脂肪肝があった時点で、しっかりと治療を受ける、食事療法、運動療法等を行い、脂肪肝を改善する、という点に尽きるのですね。

もちろん食事療法、運動療法はなかなか持続できないことも多く、また痩せろ、痩せろと言われてもなかなか痩せられないよ、という声があるのも重々承知しています。私も『太るのは簡単、やせるのは大変』をいやというほど実感している一人です。しかし脂肪肝はゆくゆく恐ろしい病態を引き起こす可能性があることを認識していれば、多少は頑張れるのではないのでしょうか。

**まさしく、『たかが脂肪肝、されど脂肪肝』なのです。**



世界三大珍味の一つ、フォアグラ。ですがこれこそ究極の“脂肪肝”。

**当院には日本肝臓学会の専門医(常勤医3名、非常勤医3名)がおり、肝臓内科を標榜しております。**



# セレクト給食のご紹介



当院の給食では、月曜日から金曜日の夕食時、セレクト給食を実施しています。対象は一般食(常食、全粥食)の患者さんです。セレクト用紙は毎週月曜日(その週の木・金曜日実施分)と金曜日(翌週の月・火・水曜日実施分)の昼食時にお膳にのせて配布し、患者さんの希望をお聞きしています。

セレクト食は、「肉」または「魚」を選ぶ献立が多いのですが、時には「ごはん食」もしくは「あんかけ焼きそば」といった選択メニューや、卵の献立や豆腐料理も取り入れています。

## セレクト食の一例

A 赤魚の煮付け



B 豚肉のインド風ソテー



A 揚げ出し豆腐



B 鮭のマリネ



A 牛肉しょうが煮



B 銀かれい和風ソース



「魚」と「肉」を選択される割合は、その時入院されている患者さんの年代や性別によって傾向が分かります。揚げ物(白身魚のフライ、揚げ出し豆腐など)の献立はいつも人気があり、選択される患者さんが多い傾向があります。

# 入退院・総合相談センターのご紹介

## ◆入退院・総合相談センターの役割

主に入退院時の手続きや、入院予約の説明を行っています。他にも高額療養費制度等の医療費制度の説明や、医療相談員による介護保険等の相談も行っています。

入退院・総合相談センターは1番診察室と受付の間にあります。(右写真参照)



## ◆入退院の流れ ※状態や治療内容によって流れは変わります。

### 予約時

- ① 診察の結果、入院が決定します。
- ② 入退院・総合相談センターにて入院時に必要な書類、持ち物、高額療養費制度等の説明を行います。(必要に応じて看護師や医療相談員が日常生活等について支援を行います。)
- ③ 帰宅し入院日まで準備となります。

### 入院日

- ① 入退院・総合相談センターで保険証や入院書類の確認を行います。
- ② ネームバンドを付け、病棟への入院となります。(新型コロナウイルス感染症対策として、入院前にコロナ検査を実施する場合があります。)

### 退院日

- ① 病棟にて退院の準備が出来次第、入退院センターへ行きます。
- ② 入退院・総合相談センターでネームバンドを外し、お支払い窓口にて請求書を出して会計を済ませます。(次回入院の予定があれば入院説明を行います。)
- ③ 退院となります。

## ◆他にこんな事もしています!!

### ～宅急便手ぶら入院・退院サービス～

遠方からの入院や、退院時に栄養缶など処方され持って帰るのが大変な時に、送料は自己負担となりますが、入院時は病院に、退院時は自宅に発送することができます。

### ～患者さんへのお荷物の受け渡し～

現在、新型コロナウイルスの影響で面会を制限しており直接お荷物をお渡しできません。代わりに当院スタッフが患者さんに荷物の受け渡しを行っています。

入退院に関して聞きたいことがあればお声がけください。



## Topics



# 『マイナ受付』を導入しました

昨年10月から『マイナ受付』を導入、顔認証付きカードリーダーを新患受付と再来受付に設置しました。マイナンバーカードが健康保険証として利用できます。(申請が必要) 本人の同意があれば、特定検診情報や今までに使った薬剤情報が医師等と共有でき、より適切な医療が受けられるようになります。



## 小樽掖済会病院 認定施設一覧

- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本消化器病学会認定施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・日本大腸肛門病学会認定施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本カプセル内視鏡学会指導施設
- ・日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
- ・日本麻酔科学会認定病院
- ・日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
- ・日本栄養療法推進協議会認定 NST 稼働施設

## 施設概要

開設年月日 昭和19年4月1日

管理者 向谷 充宏

病床数 138床

構造規模 鉄筋コンクリート造、地下1階、地上7階

駐車場 敷地内駐車場48台(福祉車両専用含む)

## アクセス

所在地 〒047-0032  
北海道小樽市稲穂1丁目4番1号

TEL 0134-24-0325

FAX 0134-24-0326

交通機関 JR小樽駅より徒歩5分  
中央バス各線バス停まで徒歩3分

## 診療科科目

- ・内科
- ・消化器内科
- ・胃腸内科
- ・肝臓内科
- ・外科
- ・消化器外科
- ・乳腺外科
- ・肛門外科
- ・麻酔科
- ・整形外科(休診中)



★札幌よりJR利用快速列車約30分でJR小樽駅着



日本医療機能評価機構  
認定第 JC2292 号

